

水田で生産される新しい飼料 — 稲発酵粗飼料と飼料用米 —

- ・稲発酵粗飼料(イネWCS)は輸入乾草を代替できる国産粗飼料です。これを給与して生産した牛肉は冷蔵庫内での保存性が向上します。
- ・飼料用米は主に食用米とは異なる多収性品種を栽培・収穫し、牛、豚、鶏などの飼料としたものです。国産デンプン質飼料として有望です。

■ イネWCS※の調製と給与効果



①イネWCSは、籾がまだ軟らかい時期に収穫して梱包・密封・発酵させたイネのサイレージ(漬け物)です。



②イネWCSは、牛での消化性や嗜好性が良く、牧草と同様に給与できます。

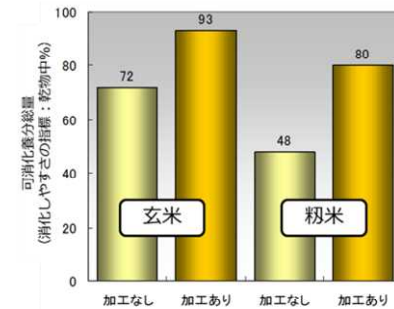


給与粗飼料の違いが牛肉色に及ぼす影響
(枝肉にして13日間冷蔵保管したもの)

③イネの葉にはα-トコフェロール(ビタミンEの一種)が豊富に含まれており、これを給与して生産した牛肉は、脂質酸化や肉色の褐変を抑制でき、冷蔵庫内での保存性が向上することがわかりました。

※イネWCS：稲の穀実や茎葉など全ての部分を混ぜてサイレージ発酵させる「イネホールクロップサイレージ」の略称

■ 飼料用米の調製と給与効果



加工により飼料用米の消化性が向上する(乳牛での調査)
(岐阜県畜産研究所との連携による研究成果)

①飼料用米は、粳米を成熟期に収穫し、牛、豚、鶏などの飼料としたものです。粳米や玄米は、鶏には未加工でも給与できますが、牛や豚では消化し難いため加工(蒸気圧ぺん、破碎など)が必要なることを明らかにしました。



②飼料用米を低コストで1年間程度の常温貯蔵を可能とするため、破碎した粳米に水と乳酸菌を添加して発酵飼料(粳米サイレージ)にする方法も開発しました。



③飼料用米を給与して生産した豚肉、鶏肉、鶏卵ではオレイン酸などの不飽和脂肪酸含量が増加する効果が、また牛肉では脂質をより白くさせる効果があることなどを確認しています。

☎ 詳しい情報を知りたい、という方はお気軽にご連絡ください。

(国研)農研機構 畜産研究部門 企画管理部 企画連携室広報プランナー

TEL:029-838-8292(直) FAX:029-838-8606(代表) URL:<https://www.naro.affrc.go.jp/inquiry/tech.html>